

1◆タイトル:

TED で学ぶ World Englishes

2◆サブタイトル:

～グローバル化時代の新英語学習～

3◆キャッチコピー:

英語はネイティブだけのものじゃない！いろいろな国のいろいろな英語 10 講

4◆企画概要:

「ネイティブスピーカーになるための英語革命」、「ネイティブスピーカーにグッと近づく英語」、「その英語、ネイティブにはこう聞こえます」。聞き馴染みのある方も多いと思います。これらは実際に書店に並んでいる本のタイトルです。どうやら「ネイティブ」ということばには、人を惹きつける不思議な力があるのでしょうか。実は私自身、つい数年前までこのような本の熱狂的な読者でした。

「でも、なぜネイティブにこだわる必要があるのだろうか？」この質問を自分自身に問いかけた瞬間、私の英語学習に対する考え方は 180 度変わったのです。英語が国際語としての役割を果たす今日、英語話者のなんと 8 割以上が英語を第二言語とするノンネイティブスピーカーであると言われています。また、国際社会ではインド英語やドイツ英語のようなバラエティーに富んだ独自の英語が飛び交っています。**英語はもはや、単数形の English ではなく、複数形の Englishes なのです。**

しかし、英語学習教材の多くは、ネイティブの発音のみを本物の英語とみなし、世界にあふれる諸英語 (World Englishes) をほとんど扱っていません。中学や高校の英語の授業を思い出してみてください。いろいろな英語を収録したリスニングの教材があったでしょうか。おそらくなかったと思います。これでは将来、ノンネイティブの英語、そしてその話者への否定的な態度につながりかねませんし、なによりいつまでたっても自分自身の英語に自信をもてるようになりません。これからの英語教育には、「**ネイティブの英語**」から「**World Englishes**」への**パラダイムシフト**が不可欠なのです。したがって本企画教材は、**読者のみなさんが World Englishes に親しむと同時に、それらを聞き取る素地を養い、自分の英語に自信をもって堂々と話す姿勢を身につけることを目的とします。**

これを達成する手段として、本教材では TED を題材として扱います。TED とは、世界各地から集まった登壇者が、素晴らしいアイデアを英語で発表するプレゼンテーションのイベントです。つまり、World Englishes に慣れ親しむには、うってつけの題材なのです。

それだけではありません。本教材は、「英語と内容の統合的学習」、そして「プレゼンテーション力の向上」も視野に入れた構成となっています。これは、グローバル人材の育成という観点からです。多くの英語学習教材は、「グローバル人材＝英語力」と捉えがち

ですが、その他にも豊富な内容や知識力、そして自分の考えをわかりやすく効果的に伝えるプレゼン力などのスキルを備えていなければ、真のグローバル人材とは言えません。本教材が、「ネイティブの英語」から「World Englishes」への転換、そして国家プロジェクトでもあるグローバル人材の育成に貢献することを願っています。

#### 本企画教材のコンセプト



#### 5◆企画者名:

佐伯卓哉

#### 6◆企画者プロフィール:

2015年に早稲田大学を卒業。現在はハワイ大学修士課程に在籍中。英語に対する熱意が人一倍強く、全国学生英語プレゼンテーションコンテスト第3位（インプレッシブ賞）を受賞（2012年）。2014年に開催された、Japan-Korea Global Presentation Competition では、Japanese English の必要性を主張し、最優秀賞を受賞（プレゼンテーションの動画 <https://www.youtube.com/watch?v=5n9UFZmqCes&feature=youtu.be>）。その他、多数の学会で英語教育、そして本書のテーマである世界の諸英語（World Englishes）についての研究発表や論文出版をしている。現在は、皇太子明仁親王（現在の天皇陛下）奨学金奨学生としてハワイ大学大学院にて英語教育の研究に従事している。

#### 7◆読者ターゲット

##### ●メインターゲット:

英語学習者（主に、高校生や大学生）、英語教員

##### ●サブターゲット:

World Englishes に興味のある世界中の英語学習者

#### 8◆企画のねらい:

本教材を通して最も読者に伝えたいことは、**世界にはアメリカ英語やイギリス英語だけで**

はなく、シンガポール英語やドイツ英語、日本英語のように多種多様な英語があり、それらに優劣の差などないということです。多くの日本人は「本物の英語」と聞くと、なぜかアメリカ人やイギリス人が話すネイティブの英語を連想し、それ以外のアクセントのある英語を「broken English」と侮辱的に捉える傾向があります。これではノンネイティブの英語、そしてその話者への否定的な態度につながりかねませんし、なによりいつまでたっても自分自身の英語に自信をもてるようになりません。本教材を通して、世界の英語を聞き取るスキルを身に付け、「これは自分の英語で、ネイティブのマネではない！」と堂々と言えるぐらいに、自分の英語に自信をもってもらえればと願っています。

#### 9◆企画の背景:

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、文部科学省はますます英語教育の充実に力を注いでいます。しかし、英語教材の多くはネイティブの英語のみを使用し、World Englishes を扱っていません。オリンピックに訪れる外国人観光客を想像してみてください。英語圏からよりも非英語圏からの方が圧倒的に多いはずです。そして彼らはアメリカ英語を話すわけではなく、世界各地の多様な英語を話します。したがって、今の日本の英語教育には、「ネイティブの英語」から「World Englishes」への方向転換が不可欠なのです。本教材が目的とする World Englishes に慣れ親しみ、それらを聞き取るスキルの向上は、文部科学省が掲げる東京オリンピック・パラリンピックに向けた英語教育の充実に間違いなく貢献するでしょう。

#### 10◆類書との差別化:

- ・ ダボス会議で聞く世界の英語（コスモピア）

世界の英語に慣れ親しむという点で本企画と類似している。しかし、題材の内容に関して、本企画が対象とする高校生や大学生が英語でディスカッションをするには非常に高度である。さらに、内容理解のための設問や、ディスカッションのための質問等がほとんどなく、授業で使用する教材として向いていない。また、類書は英語の音声のみを扱っているが、本企画では、TED 動画を活用したプレゼン力の向上も視野に入れた構成になっている。

#### 11◆企画者の要望:

本書は書店の英語学習コーナーに並んでいるかと思います。また、高校や大学の授業で使用する英語教材として採用されていることを願っています。

#### 12◆構成案:

About ～はじめに～ ----- (World Englishes の概要などを説明します)

-----pp. 2-10

Contents ～ 目 次 ～





# Modeling My Dream — Kyosuke Yamamoto

## BEFORE YOU WATCH

Discuss the following questions as a group.

1. Do you have a dream? For example, ask yourself, "What do I want to do in the future?"; "What kind of job do I want to get?"; If I can do only one thing for the rest of my life, what would it be?"
2. Why and since when have you had the dream?
3. What do you think are necessary to make your dream come true?

TED を見る前にウォームアップとして、プレゼンの内容に関する質問について、考えます。

The transcript of the presentation is shown below. Fill in the blanks with words while you listen to the presentation.

I have a dream. My dream is working for people (1. ) digital technology. The reason is clear. I've been interested in Computer Graphics Technology since 4 years old. To model my dream, I'm piling up the "paper of efforts". I wanted to know what will happen if I pile up "paper of efforts". You might think paper is two-dimensions. But, if paper is piled up, it will have thickness and become three-dimensions. Using this idea, I piled up more than 100 of milk cartons and built a sailing boat when I was 11 years old. I thought that piling up something is so interesting. This is my (2. ) ( ) of curiosity.

Now, I'm researching about digital technology at school seminar. Last summer vacation, I (3. ) ( ) know the software OsiriX. By using this software, CT and MRI images can be easily reconstructed into 3D images. And the 3D images can be modeled by using 3D printer. I was surprised to see this technology used for the medical field. A 3D model is made by piling up the slice data. This idea is the same (4. ) ( ) ( ) building my sailing boat. The dots were connected in my life.

TED を聞きながらディクテーションをします。日常会話や、プレゼンで使える表現を選んでいきます。

## BEFORE YOU WATCH

Watch the TEDx Talk below without transcript.



However, this wonderful technology is used only in the medical field. Maybe you think it's "Mottainai". And I thought so, too. And I thought that we should use this technology for education, too. At that time in the newspaper, I knew Dr. Maki Sugimoto who is an expert of digital medicine. I thought I must meet him. He looked friendly enough to share my idea, so I sent an email. Then I went to meet him. .... (中略) .... Thank you very much.

# Answers

## 1. with

前置詞"with"は「～と一緒に」という定形訳だけでなく、その基本イメージをつかめるようになると、様々な言い回しが可能になる非常に便利な単語。ここでは、with digital technology（デジタルテクノロジーを「使って」）という意味で使用されている。他にも例えば、"with ~ in mind"で「～を考慮に入れて」という表現を作れたり、"with a sun rising over the mountain"（with+名詞+現在分詞）で情報を加えたりすることができる。with を上手に使いこなせれば、ちょっと凝った表現が可能になる。

ディクテーションの解答。さらに、どのようにそれらの表現を日常会話やプレゼンで使うのかを解説しています。

## 2. first dot

"first dot of curiosity"で「好奇心の出発点」という表現。後に"The dots were connected in my life"とつなげることで、ストーリーに一貫性を生み出している。"first dot"や"Dots were connected"などの比喩表現を交えることもプレゼンテーションに味付けをするひとつのテクニック。

## 3. got to

「get to +動詞」で「～するようになる」という表現。ここでは"I got to know the software OsiriX"（OsiriX というソフトウェアを知るようになった）という文脈で使われている。

## 4. as that of

まず"same as ~"で「～と同じで」という表現になる。さらに、前出の単数名詞（idea）を示す"that of ~"で、どのようなアイデアと一緒にだったのかについて説明している。前出の名詞が複数の場合はthoseを使う。

- 例：
- The current situation is similar to that of five years ago.（現在の状況は5年前のそれ（状況）と似ている。） situation が単数なので、that を用いる。
  - Many problems are similar to those of five years ago.（多くの問題は5年前のそれら（問題）と似ている。） problems が複数なので、those を用いる。

……後略……

# AFTER YOU WATCH

## What is the main purpose to show his carton-made sailing boat?

- to show how strong the paper is when it is piled up.
- to show a relation between his curiosity of piling up something and 3D model used in medical field.
- to show how difficult it was to make a sailing boat with milk cartons when he was 11 years old.

TED を見たあと、内容理解を確認するための設問や質問。

## Discuss the following questions as a group.

- What does he think as *mottainai*? And what does he suggest?
- What are the two ways that the model can be used for people?
- Do you want your own skeleton model? Why or why not? If not, do you have any other ideas for us to understand the precious of life?

## Summarize the presentation, and share it with your group members.

---



---



---



---

## What impression did you have of his English? Were there any pronunciation that you found difficult to understand?

---



---



---

多様な英語について、意識的なリフレクションを促します。

# PRESENTATION SKILLS

プレゼンのコツを  
紹介しています。

[0:09-0:10]

オープニングを引用文で始めてみよう！ここでは、「I have a dream」という King 牧師が、人種平等を呼びかけた有名なスピーチの言葉を引用している。誰もが知っているような言葉を使うことで聴衆との距離を縮め、さらにその言葉と自分のストーリーを絡めることで聴衆をあなたのプレゼンテーションに引き込もう！

[3:00]

実物を持ってこよう！もしあなたが、ある「もの」についてプレゼンをするのであれば、写真ではなく、実際にその実物を持ってこよう！PowerPoint を使って写真を映すのも良いが、実際に聴衆の目の前で実物を見せる以上に正確に伝わる方法はない。あなたが作ったロボットを紹介したいのであれば、実際に持ってきて実演してみよう。写真や動画で見せるより、聴衆はあなたのプレゼンテーションに引き込まれるに違いない。

[5:16-5:23]

驚くようなデータや事実を伝えよう！「エッ!？」となるような意外性のある統計や事実、言葉を伝えるのもテクニックのひとつ。ここでは、「10代の死因の30%が自殺である」というショッキングなデータを示すことで、聴衆の関心を引きつけ、さらに命の大切さを教育する必要があるという彼のメッセージを効果的に裏付けている。

